

…が示すように、皆さん一生懸命歯磨きをして、むし歯のない健康な歯でしっかりと物を噛んで、健康な体をつくってください」と挨拶し、当会より入賞者に賞状と記念品を贈呈した。

(福井宣之記)

空 知

**第34回むし歯予防デー**  
日時：平成24年6月2日(土) 午前10時より  
場所：滝川市総合福祉センター



歯科医師6名を含む歯科関係者のほか、保育士・栄養士・ボランティアの協力のもと、標記むし歯予防デーにちなんだイベントを開催した。会場には570名の親子連れらが訪れ、うち371名が歯科健診を受け、歯科への関心の高さがうかがえた。

また、歯科相談・ブラッシング指導・咬合力検査・フッ化物洗口・健口クイズ・禁煙・食育などの各コーナーを設置して、子どもから大人まで歯の大切さや健康について理解を深めてもらった。(齋藤宗良記)



美 唄

**口腔衛生週間 よい歯のコンクール**  
日時：平成24年6月6日(水)  
場所：美唄市保健センター

昨年、秋の美唄市における3歳児健診の結果、優秀な口腔状態にあると判断された87名に当コンクール参加の権利が与えられたわけだが、当日の参加は34名となった。

熱心な保護者の付き添いのもと、殆んどすべての

お子さんがむし歯ゼロの状態である。どの地域もおそらくそうであるように一見すると甲乙つけ難く、審査は困難を窮めた



が、当歯会では3年程前より、二次審査対象者10名に対し、下顎左側第二乳臼歯舌側で歯垢の染め出し検査をしており、むし歯のある人が優秀者として表彰されることがないのと同様に、赤く染め出された児童が優秀として表彰されることはないシステムとなっている。しかし、今もって9割以上が赤く染まるという事態は、日本全国共通したものに違いない(ここに深刻な問題がある訳ですが)。



本年からは一次審査のみとして、最初から全員に当該部位の歯垢染め出しを行い、診査の簡略を図った。情報が広まるのは早いので、この手法が何回も有効とは思えないが、どういう磨き方が正しいのかを考える一助となるならば、それにすぎたことはない。

自画自賛ともいえるが、当歯会で作製している次年度のカレンダーに記念写真が掲載されることも魅力であろうし、コンパクトで小さいが、植毛は硬い歯ブラシにより刷掃する指導も役だっていると思う。

活気ある表彰後の記念写真(これがカレンダーに掲載される)をご覧ください。(小森英世記)



後 志

**歯の衛生週間 余市地区**  
日時：平成24年6月2日(土) 午後2時～午後3時30分  
場所：余市町中央公民館

「親子の歯のコンクール」を行い、本年度は6組